



2026年7月31日

各 位

上場会社名 日本鑄鉄管株式会社
代表者名 代表取締役社長 石毛 俊朗
(コード番号 5612)
問合せ先責任者 取締役管理本部長 長谷部 圭一
(TEL 03-3546-7675)

業績予想並びに配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、2026年4月27日に公表いたしました「2026年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」において、2027年3月期の通期連結業績予想及び配当予想を未定としておりましたが、本日、下記のとおり決定いたしましたのでお知らせいたします。

記

●業績予想の修正について

2027年3月期通期連結業績予想数値の修正 (2026年4月1日～2027年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	未定	未定	未定	未定	未定
今回修正予想(B)	16,700	620	480	210	65.36
増減額(B-A)	—	—	—	—	
増減率(%)	—	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (2026年3月期)	15,942	258	215	91	28.39

修正の理由

4月27日の決算発表時におきましては、国や自治体で水道管路を含む水インフラ耐震化の推進施策を立案・推進している中、中東情勢や世界的なインフレ、各国の貿易政策、為替の変動などにより、管路の布設工事の動向や原材料価格・エネルギー価格等の諸物価が非常に見通しにくい状況にあったため、2026年度の業績予想につきましては合理的な算定ができないことから、未定とさせていただきました。

これらについて、現時点においても十分に見通せる状況とは言えないものの、2026年度第1四半期決算を踏まえ、2026年度通期の経常利益予想を4.8億円、親会社株主に帰属する当期純利益の予想を2.1億円と見込んでおります。

この業績予想には、以下の要素等を反映しております。

鑄鉄管販売量は全国的には低水準の状況が継続する前提である一方、諸物価高騰に対応した価格改定等を織り込み、売上高は前年度比7.6億円増加の167億円、経常利益は2.7億円増加の4.8億円、親会社株主に帰属する当期純利益は、株式会社クボタとの製造合併会社設立にあたっての設備撤去費用等を織り込み、2.1億円の利益を見込んでおります。

株主及びステークホルダーの皆様におかれましては、引き続きご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

●配当予想の修正について

	年間配当金				
	第 1 四半期末	第 2 四半期末	第 3 四半期末	期末	合計
前回予想 (2026 年 4 月 27 日発表)	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —
今回発表予想	—	0.00	—	25.00	25.00
当期実績	—				
前期実績 (2026 年 3 月期)	—	0.00	—	25.00	25.00

修正の理由

当社は、上下水道・ガス事業といった公共インフラを対象とした事業展開をしており、長期的かつ安定的な経営基盤の確立を重要視しております。

この基本方針に則り、期末配当予想を以下のとおりとさせていただきます。

2026 年 3 月期決算の発表の際には、業績予想を未定とさせていただきましたが、2026 年度第 1 四半期決算を踏まえ、2026 年度通期の親会社株主に帰属する当期純利益の予想を 2.1 億円としております。

この業績予想に加え、財務状況ならびに今後の設備投資対応等を総合的に判断し、未定としておりました期末配当を 1 株当たり 25 円とさせていただく予定であります。

※上記の予想は、現時点において入手可能な情報に基づき作成されたものであり、実際の業績は、今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

以 上